

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数 4年生・57名

実施日 令和3年10月22日（金）

上越市立春日新田小学校において 出前講座「川の防災学習（現地学習）」を実施しました。

防災教育の専門家である上越教育大学大学院 山縣教授の協力のもと、上越市立春日新田小学校4年生（2クラス 計57名）を対象に出前講座「川の防災学習」を実施しました。

本講座は全3回の内容からなり、第1回は災害・防災に関する基礎学習、第2回は散策しながら水害時の危険箇所を学ぶ現地学習、第3回は学校の周りの危険箇所・安全箇所を調べる自己学習を行います。今回は、第2回目の講座を行いました。

今後、第3回講座を11月4日に実施する予定です。

【山縣耕太郎教授 プロフィール】

所属：上越教育大学大学院学校教育研究科社会系教育講座教授

専門は自然地理学（島弧火山発達史、第四紀環境変遷史など）。

上越教育大学が主催する出前講座では、「地域の災害を想定する」をテーマに防災教育を行っている。

● 実施概要

○第2回 テーマ「川の防災に関する現地学習」

日時：令和3年10月22日（金）

3限 10:40～11:40、5限 13:35～14:35

場所：春日新田小学校 校区内 ※現地学習ルートは別図-1を参照

参加者：春日新田小学校 4年1組、2組 57名

内容：1）洪水時に危ない場所

2）地元町内会長による7.11水害のお話、昔の戸野目川のお話

3）被災住民による7.11水害のお話



4年1組の現地学習の様子
～山縣先生より洪水時に危ない場所を聞く～



4年2組の現地学習の様子
～安江2丁目町内会長より7.11水害のお話を聞く～

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数
実施日

4年生・57名
令和3年10月22日（金）

● 出前講座の様子



洪水時に危ない場所：用水路
普段、水量の少ない用水路でも、洪水時には、水かさが増して深くなり危険であるため、近づいてはいけないことを説明しました。



洪水時に危ない場所：縁石
洪水時には、縁石が濁った水の下となり見えなくなることから、つまづいて転ばないように、注意を払う必要があることを説明しました。



7.11水害のお話（安江2丁目）
安江1丁目町内会長より、7.11水害時には、戸野目川から水があふれ、子どもの腰くらいの深さ（約70cm）まで浸水したとのお話がありました。



洪水時に危ない場所：水田
道路より低い水田などは、洪水時に浸水すると、より水深が深くなり、溺れることもあるため、大変危険であることを説明しました。



地域住民による水害の体験談
7.11水害で被災した地域住民より、当時、戸野目川からあふれた水が自宅に一気に流れてきたため、安全な二階へ急いで避難したとのお話がありました。



7.11水害のお話（松村橋）
安江2丁目町内会長より、7.11水害当時の堤防は低く、堤防を越えた水が住宅地にあふれ、床上・床下浸水が多く発生しましたが、その後、堤防の嵩上げにより、安全になったとのお話がありました。



7.11水害のお話（松村新田）
松村新田前町内会長より、7.11水害時には、戸野目川から水があふれるのを防ぐために、住民が堤防上に土のうを積んだとのお話がありました。



7.11水害のお話（春日新田）
7.11水害時には、小学校の前の道路も冠水しました。松村新田前町内会長より、洪水時には、無理に家へ帰ろうとせず、学校など安全な建物の二階へ避難することが大切であるとのお話がありました。



洪水時に危ない場所：側溝
7.11水害の水位痕跡を確認して、側溝の深さをあわせると、水位が110cmにもなることを聞き、洪水時には、道路の端は歩いてはいけないことを説明しました。

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立春日新田小学校

学年・人数 4年生・57名
実施日 令和3年10月22日（金）

第2回「川の防災に関する現地学習」 別図-1 現地学習ルート



※下図に電子国土Web地図を使用して作成 出典：電子国土Web(<http://maps.gsi.go.jp/>)